

プロテインキナーゼA触媒サブユニット ヒト、再組換え

Cat. No. NATE-0571

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 広範な基質をリン酸化し、多くの細胞プロセスを調節する遍在性のセリン-スレオニンキナーゼ。触媒サブユニットは、PKAホロ酵素の調節サブユニットへのサイクリックAMPの結合に続いて放出される。自由な触媒サブユニットは内因性の活性を持ち、追加のサイクリックAMPを必要としない。

別名 プロテインキナーゼA触媒サブユニット; プロテインキナーゼA; PKA; PKAC; cAMP依存性プロテインキナーゼ触媒サブユニット; PRKAC

製品情報

種	人間
由来	大腸菌
形態	緩衝された水性グリセロール溶液
分子量	mol wt 43.5 kDa
純度	>90% (SDS-PAGE)
活性	>1000 ユニット/mg タンパク質
緩衝液	30 mM カリウムリン酸緩衝液 (pH 7.4) 中の溶液で、50% グリセロール、150 mM KCl、1 mM EDTA、および 1 mM DTT を含みます。
代謝経路	適応免疫系、特定の生物系; アメーバ症、特定の生物系; アメーバ症、保存された生物系; アンフェタミン依存症、特定の生物系; アンフェタミン依存症、保存された生物系; アポトーシス、特定の生物系; アポトーシス、保存された生物系
機能	ATP結合; cAMP依存性プロテインキナーゼ活性; cAMP依存性プロテインキナーゼ活性; ヌクレオチド結合; プロテイン結合; プロテインキナーゼ結合; プロテインセリン/スレオニンキナーゼ活性; ユビキチンプロテインリガーゼ結合
単位定義	1ユニットは、pH 7.4、30°Cで32P-ATPからケンプチド基質に1ナノモルのリン酸を1分あたり転送します (放射性フィルター結合アッセイによって測定)。Km (ATP) = 30°C、pH 7.4で25 μM。Km (ケンプチド) = 30°C、pH 7.4で42 μM (33 μg/ml)。

保管・発送情報

安定性 -70°C